

SysML v2 訳語集 第1.1版

2026/6/23公開

この訳語集の概要説明・使用時の注意事項・改善提案の方法などは、<https://sysmlv2.jp/> をご覧ください。

ID	英語用語	定義元	優先訳語	使用可能訳語	用語解説 (UMLやSysMLv1と意味が異なるなど 特に説明を要するもののみ)	使用ガイドライン (訳し分けのルール等)
1	abstract	KerML	抽象			
2	accept action	SysML	受信アクション			
3	action	SysML	アクション			
4	actor	SysML	アクター			
5	alias id	KerML	別名ID			
6	allocation	SysML	割り当て	アロケーション		
7	analysis case	SysML	分析ケース	解析ケース, アナリシスケース		
8	annotation	KerML	アノテーション	注釈		
9	assert constraint	SysML	アサート制約			
10	assume constraint	SysML	前提制約, 仮定制約			
11	assignment action	SysML	割り当てアクション	代入アクション		
12	association	KerML	関連			
13	attribute	SysML	属性			
14	behavior	KerML	振る舞い			
15	binding connector	KerML	バインディングコネクター		拘束・束縛だと関係性に方向がある言葉だが、SysML v2では「同じ要素であることを示す印」なので、意図的にカタカナで表現するものとする	
16	calculation	SysML	計算			
17	case	SysML	ケース			
18	classifier	KerML	分類子			
19	comment	KerML	コメント			
20	concern	SysML	関心事	関心		
21	conjugate/conjugated/conjugation	KerML	共役			
22	connection	SysML	接続	コネクション		
23	connection end	SysML	接続端	コネクションエンド		
24	connector	KerML	コネクター			
25	constraint	SysML	制約			
26	control flow	SysML	コントロールフロー, 制御フロー			
27	control node	SysML	コントロールノード, 制御ノード			
28	data type	KerML	データ型	データタイプ		
29	decision node	SysML	ディシジョンノード	分岐ノード		
30	declared name	KerML	宣言名			
31	definition	SysML	定義			
32	dependency	KerML	依存	依存関係, 依存性		
33	derived	SysML	派生			
34	derivation	SysML	導出			
35	derived attribute	SysML	派生属性			
36	documentation	KerML	ドキュメンテーション	文書		
37	do	KerML	do		entry/exitがあるため同様に使われるdoも掲載するが、訳語は定めない	
38	done	SysML	終了	終止		
39	element	KerML	要素			
40	end feature membership	KerML	エンドフィーチャーメンバシップ			
41	entry	KerML	入場	入状		
42	enumeration	SysML	列挙	列挙型		
43	event	SysML	イベント			
44	exhibit state	SysML	状態現示		対象の要素が、現在その状態にあることを示していること	
45	exit	KerML	退場	退状		
46	expose	SysML	開示	エクスポーズ	SysML v1では「露出」と訳されることがあるが、SysML v2では位置づけが異なる	
47	expression	KerML	式	表現		
48	feature	KerML	フィーチャー	特性		
49	feature membership	KerML	フィーチャーメンバシップ	特性メンバシップ		
50	feature typing	KerML	フィーチャー型付け, フィーチャー型指定	フィーチャータイピング	フィーチャーの型を指定するための関係	
51	filter	KerML	フィルター			
52	flow	SysML	フロー			
53	for loop action	SysML	for loopアクション			
54	fork	SysML	フォーク			

ID	英語用語	定義元	優先訳語	使用可能訳語	用語解説 (UMLやSysMLv1と意味が異なるなど 特に説明を要するもののみ)	使用ガイドライン (訳し分けのルール等)
55	framed concern	SysML	枠付けされた関心事	枠付き関心事, フレームドコンサーン	特定の関心事を、要求やビューポイントという「枠」 の中に位置づけ、その要求やビューポイントが満た されるために、必ず対処されなければならない必須 制約	
56	function	KerML	関数			
57	if action	SysML	ifアクション			
58	graphical notation	SysML	グラフィカル表記法			
59	import	KerML	インポート			
60	include use case	SysML	包含ユースケース			
61	individual	SysML	個体	個人, インデビデュアル		基本は「個体」。ただし、人間に「個 体」を使うと不自然な時は「個人」と してもよい。
62	interaction	KerML	相互作用	インタラクション		
63	interface	SysML	インターフェース			
64	item	SysML	アイテム			
65	join	SysML	ジョイン			
66	library	KerML	ライブラリー			
67	lifeline	SysML	ライフライン	生存線		
68	membership	KerML	メンバーシップ			
69	merge	SysML	マージ			
70	message	SysML	メッセージ			
71	metadata	KerML	メタデータ			
72	multiplicity	KerML	多重度			
73	namespace	KerML	名前空間			
74	nested state		入れ子状態			
75	objective	SysML	目的			
76	occurrence	SysML	オカレンス		オカレンスは、その対象の発生だけでなく、ある時間 内に存在することを示す。	
77	owning membership	KerML	所有メンバーシップ	保有メンバーシップ		
78	package	KerML	パッケージ			
79	parallel state	SysML	並行状態	パラレル状態		
80	parameter	SysML	パラメータ			
81	part	SysML	パート	部品		
82	perform action	SysML	アクション実行	アクション遂行		他のアクションを呼び出すものではな く、perform actionを所有する要素自体が実行 する。その実行内容は別にアクション として定義されている。
83	port	SysML	ポート			
84	qualified name	KerML	修飾名	限定名		
85	quantity	SysML	量			
86	redefinition	KerML	再定義			
87	reference	KerML	参照			
88	reference subsetting	KerML	参照サブセット化	参照サブセッティング		
89	rendering	SysML	レンダリング	描画		
90	requirement	SysML	要求	要件		
91	result	SysML	結果			
92	satisfy	SysML	充足			
93	send action	SysML	送信アクション			
94	short name	KerML	短縮名			
95	snapshot	SysML	スナップショット			
96	specialization	KerML	特化			
97	stakeholder	SysML	ステークホルダー	利害関係者		
98	start	SysML	開始			
99	state	SysML	状態			通常は、「状態」と訳す。state machineは「ステート」も可能。
100	state subaction	SysML	状態サブアクション			
101	streaming flow	SysML	ストリーミングフロー			
102	structure	KerML	構造			
103	structured control action	SysML	構造化制御アクション			
104	subject	SysML	サブジェクト			
105	subclassification	KerML	サブクラス化			
106	subsetting	KerML	サブセット化	サブセッティング		
107	succession	KerML	継起, サクセッション	後続	前のオカレンス（例：アクション）が完全に終了し た後に、次のオカレンスが開始するという、時間軸 上の「重ならない前後関係」	
108	swimlane	SysML	スイムレーン			
109	terminate action	SysML	強制終了アクション	完全終了アクション	terminate actionは対象の処理のすべてが終わる。SysML v1の位置づけとは異なる点に注意。	
110	textual notation	KerML	テキスト表記法			
111	textual representation	KerML	テキスト表現			

ID	英語用語	定義元	優先訳語	使用可能訳語	用語解説 (UMLやSysMLv1と意味が異なるなど 特に説明を要するもののみ)	使用ガイドライン (訳し分けのルール等)
112	timeslice	SysML	タイムスライス			
113	transition	SysML	遷移			
114	type	KerML	型	タイプ		
115	unit	SysML	単位			
116	usage	SysML	用法	用途, 使われ方	使用・利用にすると、Usageがいわゆるインスタンスのような位置づけという誤解を与えてしまう。	
117	use case	SysML	ユースケース			
118	variant	SysML	バリエーション	バリエーション選択肢		
119	variation	SysML	バリエーション	バリエーションポイント, 可変		
120	verdict	SysML	判定	評決		
121	verification	SysML	検証	バリフィケーション		
122	visibility	KerML	可視性			
123	view	SysML	ビュー			
124	view artifact	SysML	ビュー成果物	ビューアーティファクト		
125	viewpoint	SysML	ビューポイント			
126	while loop action	SysML	while loopアクション			